



# 南犬飼中だより

建学の精神「向い原魂」

□物事をまじめに根気よく続けよ

□自発的実践活動を続けよ

## 【3年生を送る会】

2月26日(月)、生徒会主催による3年生を送る会を実施しました。内容は、3年間を振り返るスライドショー、昨年度までお世話になった先生からのビデオレター、1・2年生からのメッセージ、部活動の後輩からのメッセージ、記念品贈呈と盛り沢山で、とても心温まるものばかりでした。もうこの時期になるとあとわずかで卒業という思いが強いですが、1、2年生とこうして楽しい時間を共有できたことに、充実感を味わえたと思います。メインの3年間を振り返るスライドショーでは、大きな笑いとともに、当時を懐かしむ歓声が上がリ、よき思い出を満喫していました。

また、今回は、素敵な会を開催してくれたことへのお礼の気持ちとして、3年生から1・2年生へのメッセージ動画のプレゼント企画がありました。3年生自らが、忙しい合間をぬって、全て自分たちで作成した心こもった動画です。突然のサプライズ企画に、在校生はもちろん、我々教職員もその心遣いに感謝せざるにられません。「3年生を送る会」+「全生徒に感謝の会」といったところでしょうか。まさに「幸せな時間」を共有できた一時でした。



懐かしいスライドショーを観る3年生の皆さん

## 【小中学校合同あいさつ運動】

2月26日(月)から3月1日(金)までの5日間、南犬飼中学校区あいさつ強化週間として、小中学校合同「あいさつ運動」を実施しました。南犬飼中学校区の児童・生徒が自分から進んで、元気にあいさつできるように働きかけ、地域の活性化と

連携した指導体制をつくり、地域に元気を届けることが主な目的です。具体的な内容としては、本校生徒が出身小学校に出向いて、児童と一緒にあいさつ運動をするものです。昨年度から実施しており、今年度2回目の企画です。

お世話になった小学校の先生方や懐かしい後輩達との再会に、思わず会話が盛り上がり、場面が何とも微笑ましく感じました。小学校の先生方の第一声は「大きくなったねえー」がほとんどで、中学生の身体的な成長ぶりに驚いていました。中学生のお兄さん、お姉さんに混ざって、自主的に小学生があいさつ運動に参加する様子が、どの学校でも見られ、「幸せな時間」を共有できたことに感謝いたします。



【壬生東小学校】  
代表生徒から児童へ  
鉢花の贈呈



【睦小学校】  
久しぶりの再会に、会  
話で大盛り上がり



【壬生北小学校】  
代表生徒からお世話  
になった岸本校長先  
生に鉢花の贈呈



【安塚小学校】  
大きな声で気持ちの  
いいあいさつをする  
児童達

## 【卒業式】

3月9日(土)、第77回卒業証書授与式を行いました。3年生153名の生徒全員が立派に卒業証書を授与され、本校を巣立っていきました。卒業生への餞の言葉として、「学び続けること」の大切さを式辞で述べました。要旨は以下のとおりです。

『現在のように変化の激しい社会では、学校で身に付けた、学習の方法や考え方は生かされますが、知識は必ずしも生かせるとは限りません。それは、知識基盤社会といわれる現代において、日々、新しい知識や技術が生み出されているからです。ですから、むしろ、社会に出てからの毎日の勉強が大切です。勉強といっても、学校のように決められた教科や教科書が与えられるわけではありません。社会に出てからの学びは、その時その時に、自分にとって必要な知識や考え方に気づき、そこから学び方を探し、自ら学んでいくことが重要です。特に、気を付けたいことは、テレビや雑誌などから得た情報をそのまま鵜呑みにしないことです。何か情報を得たり、問題が起こったりしたとき、「なぜそうなんだろう。どんな背景があるのだろう。自分はどうすべきだろう」と考えることが大切だと思います。「なぜだろう」と興味や関心をもつことこそ、いつも「学び続けること」のきっかけになるはずです。「問いを学ぶ」と書いて「学問」といいます。一学期の終業式にお話したように、これからも、「なぜだろう?」「なんでだろう?」と疑問をもちながら日々、学び続けていってほしいと思います。』

最後に、「風は吹くのを待っているのではなく、風は自分から吹かせるもの」だという言葉を送りました。中学校3年間共に過ごした貴重な仲間との思い出を胸に秘め、これからも個性に満ち溢れた、素晴らしい風を吹かせてほしいと思います。



送辞  
飯塚 晴斗さん  
2年3組



卒業合唱  
「3月9日」

### 「幸せになるために必要なもの」

星野富弘さんが描いた「速さのちがう時計」という本の中に、「辛いという字がある。もう少しで『幸せ』になれそうな字である」という言葉が出てきます。周囲の人の支えにより、絶望の淵から這い上がり、苦難を乗り越え、生きる喜びを再び得た星野さんの言葉だからこそ、心に響くものがあります。確かに辛と言う字に一本たすと幸せになり、幸せから一本取ると辛くなります。人間は八苦の娑婆(しゃば)といわれるとおり、辛い時のほうが多いものです。しかし、辛いときには何か一本欠けているのではないかと考えを変えるだけで、幸せになれると解釈することが大切なのだと改めて思います。



卒業証書授与



答辞  
近藤 創達さん  
3年3組

## お知らせ

- ◆4月5日(金) 新任式
- ◆4月8日(月) 始業式・入学式
- ◆4月9日(火) オリエンテーション  
給食開始
- ◆4月10日(水) 身体計測
- ◆4月12日(金) 避難訓練  
新旧PTA本部役員会
- ◆4月15日(月) 学校運営協議会
- ◆4月18日(木) 全国学力・学習状況調査  
とちぎっ子学習状況調査
- ◆4月24日(水) 授業参観・学級懇談・  
PTA総会